

第1回 福島出張所管内河川レンジャー運営会議 議事要旨

開催日時 : 平成16年12月17日(金) 14:00~16:00
場 所 : メルパルク大阪5階 ル・マノワール
参加人数 : 運営会議委員8名、淀川河川事務所長1名、
淀川フォーラム実行委員会事務局2名、事務局6名、関係者5名

1. 決定事項

福島出張所管内河川レンジャー運営会議(以下、運営会議という)の代表者には小竹委員に就任していただく。

運営会議の座長には西川正也委員に就任していただく。

淀川管内河川レンジャー(試行)運営要領(以下、運営要領という)に基づき、福島出張所管内河川レンジャーとして淀川フォーラム実行委員会(特定者:菊井氏、辻川氏)を任命する。

流域センター担当河川レンジャー(以下、センター河川レンジャーという)は、伏見出張所管内センター河川レンジャーの松岡氏に兼務していただく。

本運営会議の討議内容等は淀川管内河川レンジャー検討懇談会(以下、検討懇談会という)に報告し、次回運営会議においては、その結果を受けた討議を行う。

2. 懇談会の概要

「第1回 福島出張所管内河川レンジャー運営会議」について

事務局より資料の確認および委員の紹介が行われた。また、吉田淀川河川事務所長より「第1回 福島出張所管内河川レンジャー運営会議」の開催に際しての挨拶が行われた。河川レンジャーとは、運営要領・運営会議について

事務局より、「資料-1 運営会議資料」「資料-2 淀川管内河川レンジャー(試行)運営要領・同解説」「資料-3 福島出張所管内河川レンジャー運営会議運営要領・同解説」「資料-4 河川レンジャーリーフレット」を用いて、河川レンジャーの概要や運営方法等について説明が行われた。

その後、委員による意見交換が行われた。主な意見については「3. 主な意見」を参照。運営会議代表者、座長の選任

運営会議代表者として、小竹委員が事務局からの推薦を受け、運営会議委員より信任された。その後、運営会議代表者より、座長として西川委員が推薦を受け、運営会議委員より信任された。

河川レンジャーの審議

淀川河川事務所長により河川レンジャーの候補団体として選定された淀川フォーラム実行委員会の審議を行うため、淀川フォーラム実行委員会事務局より、「資料-1 運営会議資料」を用いて淀川フォーラム実行委員会の概要が説明された。

河川レンジャー年間活動計画(素案)

淀川フォーラム実行委員会(菊井氏、辻川氏)より「資料-1 運営会議資料」を用いて河川レンジャー年間活動計画(素案)について説明が行われた。

その後、委員による意見交換が行われた。主な意見については「3. 主な意見」を参照。河川レンジャーの任命

淀川フォーラム実行委員会の審議および河川レンジャー年間活動計画(素案)の討議を受け、淀川フォーラム実行委員会が淀川管内河川レンジャーとして任命され、運営会議代表者より淀川フォーラム実行委員会および松岡河川レンジャーに河川レンジャー任命書が授与された。

3. 主な意見

運営要領について

運営要領の第2条に記されている検討懇談会と運営会議の関係はどのようなものと考えればよいのか。

検討懇談会の役割については運営要領の第22条を、運営会議の役割については同第28条を参照していただきたい。実際の活動に際しては、運営会議が主体となって河川レンジャーの運営を担うことになると考えている。

運営会議代表者について

運営会議代表者は、今後、若い世代の方に就任して頂くことが望ましい。

河川レンジャー年間活動計画(素案)について

河川レンジャー年間活動計画(素案)で挙げられている河川レンジャー活動は、淀川フォーラム実行委員会の活動と同様のものと考えてよいのか。その場合、両者の規約面での不整合が生じないようにする必要があると思う。

共通する部分は多いが、まったく同様というわけではない。

河川レンジャーと淀川フォーラム実行委員会の目的は、住民が自然を共有し、次世代につなげるための活動だという点で共通していると思う。

双方の運営要領、規約の条文を確認し、対応していく必要がある。

淀川フォーラム実行委員会が河川レンジャー年間活動計画(素案)で提案した活動を実行するためには、行政に協力をお願いすることになると思う。

行政機関内においても連携をとり、河川レンジャー活動に協力できるようにしたい。また、大阪市としても広報面において協力できる部分があると思う。具体的な内容が決定した段階で相談して頂きたい。

防災を推進する活動では、流域を所管する各行政機関が連携する必要があると思う。

センター河川レンジャーは伏見出張所管内と福島出張所管内を兼務することになるが、それぞれの地域特性にあった河川レンジャー活動を行いたいと思う。伏見出張所管内においての河川レンジャー活動では広報が不足していた面があるため、福島出張所管内では大阪府、大阪市、淀川区と連携を取り、広がりのある活動をしていきたい。